

## 支援プログラム

作成日

令和6年

2月

25日

法人（事業所）理念		すべての子どもたちが、共に学び共に育つ社会の実現（インクルーシブ社会の創造） 学校や病院、児童相談所等の諸機関と連携 障がい児に良質な療育や支援を継続的に行う 障がい児が自立した生活をおくる事が出来る資質を育てるとともに、地域や仲間と共に生きていく社会性を育てていく。										
支援方針		姫路市玉手にある放課後等デイサービスです。発達障害やその傾向のある小・中・高校生をメインに療育を行っている事業所です。個別・集団と様々な活動をお子様の発達や特性、性格、お子様同士の相性などに合わせ、それに沿った療育プログラムを作成し、プログラムを施設内で汎化し、実生活へ移行できるよう支援を行っています。										
営業時間		11	時	00	分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	保護者の意向をうかがいながらSSTの時間に生活習慣の見直し・アドバイスを行います。また上着のたたみ方や排せつなどの基本的な生活の動作を繰り返し行うことで汎化して身に付けられるような日常生活行動にかかわる支援や見通し、切り替えなどの行動スケジュールを用いた支援を行っています。 【具体例】 ・来所時に体温計測や手洗いなどを通し、自身の清潔や衛生に対することを身に付けるための時間を設けています。 ・来所時に当日のスケジュールを掲示し、その日の流れがいつでも確認できることで見通しを持って活動することができ、また気持ちの切り替えも出来るよう支援しています。										
	運動・感覚	日々の生活に欠かせない基本的な動作である粗大運動能力向上のために事業所内に運動できるスペースを設けています。また手や指を使った精密で細かい動作である微細運動能力向上のために小さな遊具など慣れ親しんだものを使用し創作意欲を掻き立てながら向上できる環境を設けています。 【具体例】 ・ミニブロックや花ブロックを使用した遊びを通して微細運動能力向上を目指しています。 ・バランスボードやバランスストーンを使用しながら体を動かすカリキュラムを取り入れることで体幹や日常動作における運動能力向上を目指します。										
	認知・行動	言語聴覚士監修の脳トレプリントを使用し、認知機能向上のトレーニングを行い、集中力向上や椅子に座って継続して授業を受けるための持久力向上を目指します。 【具体例】 ・指定された数字や文字、記号を抹消及び抽出する課題プリントを行い、集中力を高め机上の課題をやり遂げる力向上を目指します。 ・ビジョントレーニングを行うことで、眼球を動かす筋肉や眼筋を鍛えることにより両目を使って目標物を正確に捉える力を養い、また視覚情報を脳で処理して体を動かす運動機能向上を目指します。										
	言語コミュニケーション	絵カードやプリントなどを用いて言語の獲得を促します。言語聴覚士が在籍している為、口の体操や舌の動かし方、発音などを確認しながら適切な発話ができるよう練習します。コミュニケーションでは、遊びを通して児童・職員と関わる時間を設けます。コミュニケーションが円滑に取れるようサポートしていきます。 【具体例】 ・唇や舌の動きを都度確認しながら、発声発語器官の運動能力向上を目指します。 ・絵カードや文字単語カードを使用し、発語の滑らかさや語彙力の確認を行うことでコミュニケーションに必要な言語能力の向上を目指します。										
	人間関係社会性	コミュニケーションの時間では、3・4人の小集団から10人程度で行う大きな集団まで多くの人と関わる機会を設けています。遊びの中から会話の楽しさ、思いやりの気持ちを学べるように支援していきます。SSTでは、カードやプリントを用いながら社会(学校・家)のあらゆる場面を想定し、解決・対応を学んでいきます。 【具体例】 ・「こんなときどうする？」カードを使用することで、社会生活を送る上で必要な対人関係や自己管理能力などを養い、社会性の向上を目指します。										
家族支援		利用者や保護者が自らの考えを引き出せるように複数の選択肢による提案や具体的な方法を提示し、実践頂けるよう随時提案し促している。 利用者のコミュニケーション時や判断の際の表情・仕草等を観察し、面談の機会等に限らず日々伝達共有している。 子育てや特性等に関わる情報を随時提供している。				移行支援		日常的な連携に加え、行事など普段と異なる活動の際には、説明の方法や促し方について共有を図る。				
地域支援・地域連携		連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担について協議する。また各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での利用者との関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言し、地域の中での関わり方について情報共有する。				職員の質の向上		入職時には虐待防止研修を行い、利用者の基本的な人権の尊重についてや環境保全、福祉サービスの基本的な役割等を学び、職員の行動指針について学ぶ。また定期的に感染症や療育に関わるスキルアップ研修を社内及び社外研修に随時参加し、職員の質の向上に努めている。				
主な行事等		夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など利用者に季節感を感じて頂けるような行事を随時行っている。										